

安全報告書

2019年度版



会津鉄道株式会社

ご利用者はじめ地元の皆さまへ

弊社の鉄道事業に対して、日頃よりご利用とご理解をいただきまして誠にありがとうございます。

「安全報告書2019年度版」の発行に当たり、ごあいさつ申し上げます。

会津鉄道は、昭和62年7月に福島県と会津地方17市町村並びに団体、企業及び個人の出資により設立され、第三セクターの鉄道会社として開業しました。

開業以来、法令遵守の徹底及び安全輸送の確保に対して積極的に取り組むとともに、老朽設備の補修・更新を計画的に進め安全性の向上を図っております。

2018年度は、第5次経営健全化計画の最終年として計画の着実な実施を図ってまいりました。特に会津戊辰150周年の接目の年であり、当社も観光を担う会津の一員として積極的にPR活動を展開しました。

安全関係については、鉄道の基本である「安全・安定輸送」を確保するため、事故やインシデントに結びつく「ヒューマンエラー『ゼロ』」を目指し、老朽化したレールやマクラギ等の交換及び社員のレベルアップに取り組みました。

2019年度は、踏切障害事故が2年連続して発生したことから、「鉄道運転事故『ゼロ』」を目標に掲げ事故防止に取り組んでいきます。

本報告書は、鉄道事業法第19条に基づき、弊社の輸送の安全確保のための取組みや、安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまの声を輸送の安全に取り入れるために、広くご意見をいただければ幸いです。

会津鉄道株式会社

代表取締役社長 大石 直

1 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

弊社の基本方針の第一は、「鉄道の基本的使命である輸送の安全確保を完遂する」ことです。お客さまが安心してご利用いただけるよう安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

安全基本方針

1. 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
2. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること
3. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをすること
4. 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先として行動し、2次災害を防止する等速やかに安全適切な処置をとること
5. 情報は漏れなく迅速、正確、確実に伝えること
6. 常に問題意識を持ち、問題解決のための必要な改善を行なうよう努めること

(2) 安全目標

2018年度は2017年度に引き続き踏切傷害事故が発生しました。お客さまが死傷する重大事故を発生させないためにも、2019年度の安全目標を「鉄道運転事故の発生『ゼロ』」としました。

2019年度の安全目標

◇ 鉄道運転事故の発生『ゼロ』

- ・ お客さまが死傷する重大事故を発生させない
- ・ 事故に結びつくインシデント（事故の兆候）を発生させない

2 2018年度 鉄道運転事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2018年度は、踏切障害事故が1件（対前年度▲1件）発生しました。門田・あまや駅間の下雨屋踏切において、踏切警報器が鳴動中に、踏切内に進入した乗用車と衝突したものです。2年連続して踏切傷害事故が発生しました。



- ※ 列車事故 : 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故を指す
- ※ 鉄道物損事故 : 列車又は車両の運転により五百万円以上の物損を生じた事故
- ※ 鉄道人身障害事故 : 列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故
- ※ 踏切障害事故 : 踏切道において、列車または車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故

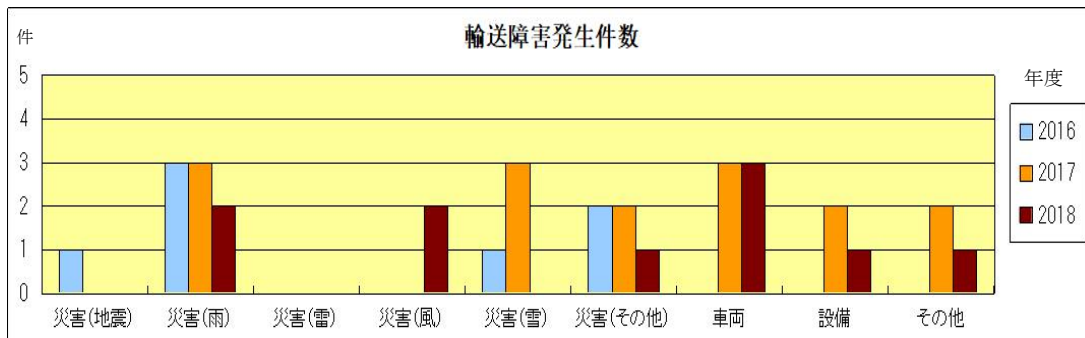
(2) インシデント（事故の兆候）

2018年度は、インシデントの発生はありませんでした。また、過去5年間ににおいてもインシデントは発生していません。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休を伴う災害や故障、部外原因等）

2018年度は、輸送障害が10件（対前年度▲5件）と減少しました。内容は、雨や風などの災害に伴う障害が5件（対前年度▲3件）、車両故障が3件（対前年度±0件）、設備故障が1件（対前年度▲1件）発生しました。

台風が多く発生しましたが、大きな輸送障害には至りませんでした。（最大で1日6本運休）また、雪による障害はありませんでした。



(4) 行政指導等

2018年度は、国土交通省からの行政指導はありませんでした。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

「会津線」の歴史は古く、大正10年に着工され、西若松～会津田島は昭和9年、会津田島～会津高原尾瀬口は昭和28年に開通しました。土木構造物等は全体的に老朽化傾向にあると考えられ老朽設備の補修や改良等を計画的に進めています。

2018年度も前年に引き続き、国の鉄道施設総合安全対策事業補助金などの活用や福島県及び会津若松市、下郷町、南会津町の3市町のご支援をいただき、安全対策工事を実施しています。

◇ 2018年度に実施した主な安全施策工事

- ・ レール交換 (湯野上温泉駅構内の523m)
- ・ PCマクラギ交換 (湯野上温泉駅構内の746本)
- ・ 橋マクラギ交換 (湯野上温泉～大川ダム公園駅間 第4大川橋りょうの194本)
- ・ 分岐マクラギ交換 (芦ノ牧温泉駅構内の85本)
- ・ 並マクラギ交換 (門田～あまや駅間の230本)
- ・ 連動装置リレー交換 (会津田島駅構内の98個)

◇ 2019年度に予定している主な安全施策工事

- ・ レール交換 (七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の595m)
- ・ PCマクラギ交換 (七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の848本)
- ・ 橋マクラギ交換 (湯野上温泉～大川ダム公園駅間 湯の上橋りょうの127本)
- ・ 並マクラギ交換 (西若松～会津高原尾瀬口駅間の341本)
- ・ 車両制御装置更新 (気動車AT-501, AT-551 2両)
- ・ 自動列車停止装置車上設備更新 (電車1編成)

(2) 社員教育、他関係機関との合同訓練

運転関係係員の資質向上を図るため、計画的に訓練等を実施しています。

2018年度は、毎月の指導訓練のほか次の訓練を実施しています。

- ・ 5月 踏切事故発生時における併発事故防止訓練を実施 (東日本旅客鉄道(株)仙台支社と合同)
- ・ 7月 信号機故障時の取扱い訓練を実施 (東武鉄道(株)・東武ステーションサービス・野岩鉄道(株)との4社合同)
- ・ 8月 信号機器取扱い訓練を実施 (野岩鉄道と合同)
- ・ 9月 鉄道テロ対応訓練及び列車脱線復旧訓練を実施 (東北鉄道協会の技術力共有化事業の一環として、東北鉄道協会傘下の鉄道事業者10社、東日本旅客鉄道(株)仙台支社、東武鉄道(株)、野岩鉄道(株)が参加)
- ・ 10月 IGRいわて銀河鉄道(株)主催の実車運転訓練に参加
- ・ 12月 踏切事故防止訓練会を実施 (南会津警察署、南会津消防本部、自動車学校、沿線の事業者4社が参加)

《 5月 併発事故防止訓練 》



《 7月 信号機故障時の取扱い訓練 》



《 9月 鉄道事故復旧訓練 》



《 12月 踏切事故防止訓練会 》



2019年度も計画的に訓練等を実施します。

(3) 委託会社・協力会社との安全に関する取組み

車両及び設備の点検・整備等を委託している会社や各種工事を施工している会社に、事故防止に係る教育や情報交換などを実施し事故防止を図っています。

(4) 踏切における事故防止

春と秋に行われる全国交通安全運動時には、沿線小学校に踏切事故防止の啓蒙活動を行うとともに、車掌が車内放送により同運動期間中であること、踏切を渡るときは一旦停止を行い左右の安全確認を行うこと等と呼びかけています。

また、2018年度は、警察署、消防本部、自動車学校、沿線の事業者の参加を得て、会津鉄道内で初めての踏切事故防止訓練会を実施しました。踏切の遮断桿に閉じ込められた時の脱出方法や、列車を緊急停止させる方法等を実演し参加された方々に実際に実施していただきました。今後も継続して実施します。

(5) ホームにおける旅客の転落防止に関する取組み

視覚障害者の方が、ホームから線路へ転落することを防ぐため、全駅のホームに点状ブロックの設置を進めています。また、視覚障害者の方が乗車される場合は、関係各所と連絡を取り合い、安全に乗車できるように対応しています。

(6) その他安全の取組み

①お客さまの信頼に応えるため

乗務員などの運転に係る社員は、定期的に運転適性検査を実施し資質を確認するとともに、出勤点呼及び出先点呼時にアルコール検知器を使用して酒気を帯びていないことを確認してから業務についています。

また、夜間のホームにおける障害防止を図るため、ホーム照明のLED化を順次進めています。

②安全総点検の実施

GW輸送、夏期輸送、年末年始輸送等の多客期には、社長及び各部課長が、現場を巡回して輸送の安全について確認しています。また、各期間中、異常時に素早く対応できるよう連絡体制の強化を図っています。

③ヒヤリハットの活用

社員等がヒヤリとしたことや危険を感じたことに対して適切に対応し、事故の発生を防止します。そのために社員とのコミュニケーションを大切にしています。

④テロ対策

テロを未然に防止するため、始発前の車内の点検、各駅及び車両基地の巡回を行い、異常の有無を確認しています。また、福島県公共交通関係機関テロ防止連絡協議会が主催する「公共交通機関におけるテロ対策総合訓練」に参加するとともにレベルに応じた対応ができるように、「鉄道テロ対応マニュアル」を策定しています。

(7) 人材の育成

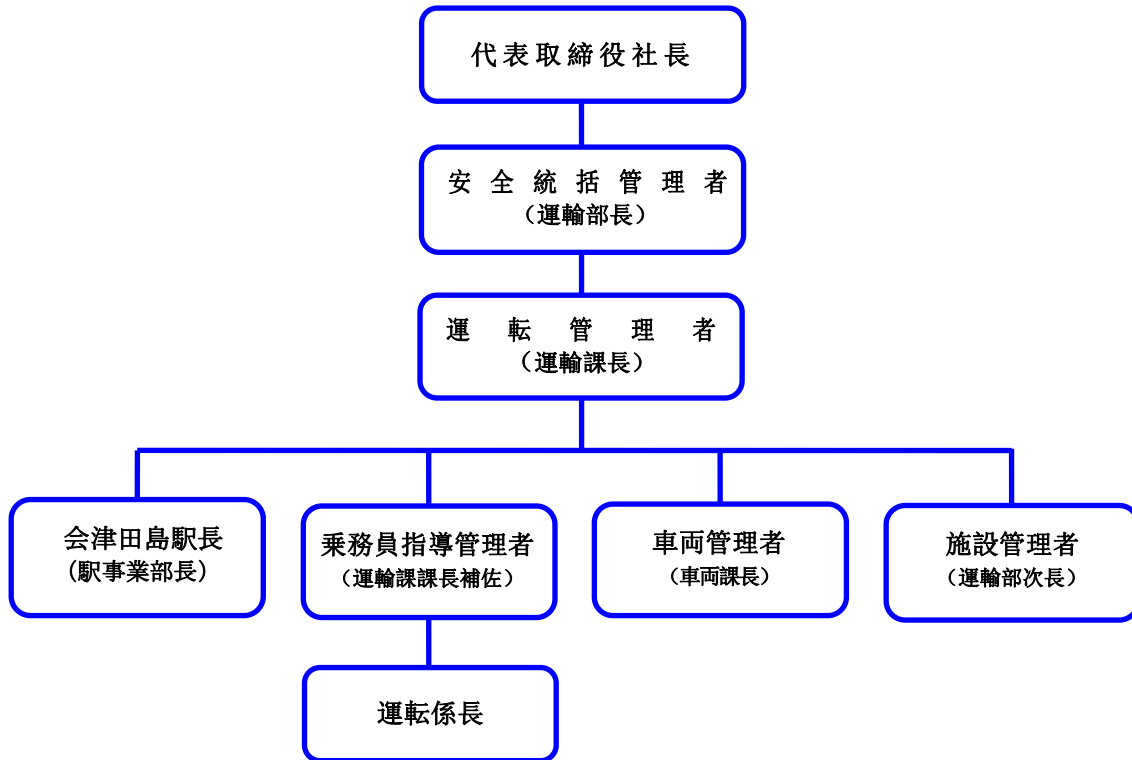
安全・安定輸送には、乗務員や技術系社員等の育成が欠かせません。このため、日本鉄道運転協会や東北鉄道協会等で実施する運転及び技術関係の研修会に参加して、知識及び技術力の向上を図っています。

◇ 2018年度に受講した主な研修・講習会

研修名	主催	系統	受講者数
運輸安全マネジメント研修	(一社) 日本鉄道運転協会	運輸	1
運転設備研修講座	(一社) 日本鉄道運転協会	運輸	1
運転法規研修講座	(一社) 日本鉄道運転協会	運輸	1
運転関係指導者講習会	(一社) 日本鉄道運転協会	運輸	1
運転業務管理セミナー	(一社) 日本鉄道運転協会	運輸	1
鉄道保線技術研修	東北鉄道協会	施設	1
鉄道橋梁等維持管理に関する講習会	(公財) 鉄道総合技術研究所	施設	2
軌道の維持管理講習会	(一社) 日本鉄道施設協会	施設	1
鉄道信号通信研修	東北鉄道協会	電気	1
新入社員連動研修	大同信号(株)	電気	1
車両保守管理における技術継承研修会	(一社) 日本鉄道車両機械技術協会	車両	2
DC研究会技術講習会	新潟トランス(株)	車両	2

4 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最高責任者
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行計画の設定、運転士及び車掌の資質の保持、他運転に関する業務を管理する
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の指導・育成や資質の維持・向上に関する業務を行なう
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する業務を統括管理する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する業務を統括管理する

5 地元の皆様との連携とお願い

(1) 会津地域のチビッ子のためのトロッコ列車試乗会を実施しています。

弊社では、支援をいただいている住民の皆さまへ感謝をこめて、沿線の幼稚園児等を対象に毎年試乗会を実施しております。2018年度は24団体690人の方々をご招待いたしました。



(2) 踏切の警報機が鳴り始めたら、踏切に入らないでください。

踏切が鳴り始めたら列車が接近しています。大変危険ですので、列車の通過を待つて安全を確かめてからお渡りください。

万が一、自動車が踏切内に閉じ込められたときは、自動車を前進させ遮断桿を押し上げて脱出してください。

(3) 線路のそばでは遊ばないでください。

列車は、急には止まれません。運転士が危ないと判断し緊急停止手配をとっても、止まるまで400m程度かかる場合があります。

危険ですので線路のそばでは絶対に遊ばないでください。もし、遊んでいるお子様を見かけましたら、ご注意くださいようお願いいたします。

6 ご連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取組みに対するご意見は、下記をお願いいたします。

会津鉄道株式会社

〒965-0853 福島県会津若松市材木町一丁目3-20

TEL 0242-28-5885 Fax 0242-26-9730